

太陽国体 ギャラリー



▲川内駅前の太陽国体広告塔



▲選手を歓迎するアーチ



▲選手を応援するかかし



▲応援幕で装飾された樋脇町役場



全国で
戦えるレベルへ

泥臭く
優勝狙う

たけした りょう
竹下 怜 ポジション：フォワード/ミッドフィルダー
・川薩清修館高等学校3年
・主な戦績は新人戦優勝
・アピールポイントはスピードを生かしたドリブル

少年女子チームでフォワードとミッドフィルダーをこなし、攻撃の要となる竹下選手。常に笑顔で明るく振る舞う姿が印象的だ。その明るさからチームメイトからの信頼も厚く、川薩清修館高校では主将としてチームを引っ張る。

樋脇中時代はバレーボールに打ち込んでいたが、ホッケー競技が盛んな地域で、友人や母親の知人に誘われホッケーの世界に。「代表として、全国と戦えるレベルのプレーをしたい」と語る。現状に満足することなく、常に上を見据えている。自慢のスピードで敵陣に切り込む竹下選手に注目したい。

うえはら しょう
上原 翔 ポジション：ミッドフィルダー
・川薩清修館高等学校3年
・高校1年時に九州3冠を達成
・アピールポイントはプレー中の豊富なスタミナ

少年男子チームでミッドフィルダーとして、粘り強くゴールを狙う上原選手。樋脇中時代は野球部に所属していたが、引退後ホッケー部の友人に誘われ大会に出場。ホッケーの楽しさを知りのめり込んだ。

アピールポイントは、学校の遠行でも1位になる程の豊富なスタミナ。国体への意気込みを聞くと、「プレッシャーは大きいが一一人が自分のプレーをし、泥臭く優勝を狙う」と胸を張った。持ち前のスタミナを生かし、コートの中を縦横無尽に駆け回る上原選手に期待したい。

大会を支える盛り上げ隊



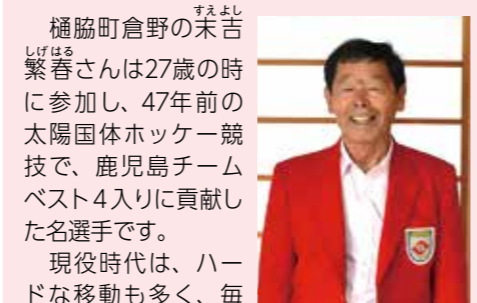
ホッケー競技を盛り上げるために結成された「樋脇ホッケー盛り上げ隊」。昨年9月に開催されたリハーサル大会でも、無料ドリンクの配布や駐車場整理など、大会のスムーズな運営にご尽力いただきました。

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会事務局
〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号
(薩摩川内市役所 国体推進課内)
☎(23)5111 FAX(20)5570
✉kokutai-kikaku@city.satsumasendai.lg.jp



燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会 HP ▲

太陽国体選手が語る大会の思い出



樋脇町倉野の末吉繁春さんは27歳の時に参加し、47年前の太陽国体ホッケー競技で、鹿児島チームベスト4入りにも貢献した名選手です。

▲47年前のジャケットを着用する、末吉さん

現役時代は、ハードな移動も多く、毎週末の県外遠征は当たり前、海外遠征にも行き、帰りの列車では疲れ果て通路に新聞紙を敷き寝ていたというエピソードも。太陽国体の思い出を聞くと、「地元開催ということで、幼稚園児から高齢者クラブまで幅広い年齢の方々が応援に来てくれ、選手全員がとても気合が入っていました」と誇らしげに語りました。



プレーで
恩返しを

声援を
ちからに

いかわ だいち
井川 大地 ポジション：ゴールキーパー
・樋脇ホッケークラブ所属
・平成25年東京国体優勝
・目まぐるしく変わる展開、迫力ある攻防に注目

成年男子チームの守護神として長くチームの勝利に貢献し、チームメイトからの信頼も厚い井川選手。小学2年からホッケーを始め、人一倍体格が良かったことからキーパーを勧められた。彼を昔から知る人は「彼の実力は日本代表のキーパーに匹敵する」と語る。競技を応援・サポートするため結成された樋脇ホッケー盛り上げ隊の話題になると、「感謝しかありません。プレーで恩返しをしたい」と感謝の気持ちを述べ、「地元開催の国体の舞台で、勝ち進んで上位進出を目指したい」と意気込んだ。

なかせ ちりさ
中畝地 里沙 ポジション：ミッドフィルダー
・鹿児島クラブ所属
・大学4年生時、インカレで優勝しMVPに選出される
・中盤から果敢に得点を狙う姿に注目

成年女子チームをリードするのは、中畝地選手。小学3年から競技を始め、当時の樋脇町で盛んに行われていた地域対抗戦でスティックを握りコート駆け回った。現在は、強化指導員として活動し、週に5～6日はグラウンドで汗を流すほど練習熱心だ。

また、休日もチームメイトと登山をするなどトレーニングを欠かさないと。「目標は最上位。厳しい戦いではあるが、地元の方々の声援を力に、結果を残したい」と目標を語った。

ホッケー競技

L字型のスティックの片面のみを使ってドリブルやパスをし、相手ゴールにボールを入れて得点を競う競技です。1チーム11人(1人はゴールキーパー)。
シュートはシュートゾーンの中から打たれたシュートのみが得点となり、4クォーター(1クォーター15分)で勝敗を決します。

日程/10月8日(木)～12日(月) [5日間]
会場/成年男女：樋脇屋外人工芝競技場
少年男女：丸山自然公園人工芝コート
※全種別、決勝戦は樋脇屋外人工芝競技場
3位決定戦は丸山自然公園人工芝コート



「燃ゆる感動かごしま国体」開催に関しては、新型コロナウイルスの影響により、延期など検討されています(5月22日現在、今号では地元を代表して全国の舞台で戦う選手たちの競技への思いや、地元への感謝の気持ちについて紹介します)。
今回は、樋脇町を中心に活動するホッケー競技「鹿児島県選抜チーム」の選手たちにインタビューしました。